


卒後2年目事例検討研修

～実践につながる事例検討～

9月20日（木）・21日（金）に、卒後2年目看護職員を対象に事例検討研修を実施しました。研修者1人1人の「心に残っている事例」や「忘れられない患者との場面」をもとに、グループワークを行いました。日々の看護実践を話し合い共有していく中で、「患者・家族と向き合い、本心をしっかり捉えていきたい」、「自分の看護観を見つめ直すきっかけになり、看護観を深めることができた」など、自己の感情や傾向、看護観や信条に気づき、課題を明らかにしていました。


グループワークでは、活発な意見交換も然ることながら、全体会の発表や質疑応答での堂々とした姿をみて、去年よりさらに成長を感じ頼もしく思いました。



 **グループワーク**

- * 患者・家族の背景や気持ちを理解することの大切さと難しさを実感していました。
- * それぞれの体験や看護観の共有により、多角的な視点で患者理解を深めていました。



 **全体会**

- * グループ内で1事例を取り上げ、問題・課題の本質、看護の方策などをまとめ発表を行いました。
- * 患者・家族の意思決定支援、目標共有の重要性、精神的なケアに関して等、患者・家族にとって最善なケアについて活発な意見交換が行われました。



★新人教育に関して、何かご意見やご要望などありましたらお気軽にご連絡ください。

看護職キャリア支援 教育担当